



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: NNA. ASIA (15 December 2015, Japan)

Page: http://news.nna.jp/cgi-bin/asia/asia_kijidsp.cgi?id=20151215thb006A#EPIF

エコプロダクツ展、来年は11年ぶりタイ開催 [経済]

タイ - 2015年 12月 15日(火)

アジア生産性機構（APO）とタイ工業連盟（FTI）、タイ生産性本部（FTPI）は14日、来年6月8～11日にバンコクで環境配慮型製品や技術、サービスの国際展示会「第10回エコプロダクツ国際展（EPIF）」を開催すると発表した。タイでの開催は2005年以来11年ぶり2回目。



エコプロダクツ国際展のタイ開催を発表した準備委員会の梁瀬行雄委員長（右）＝14日、バンコク（NNA撮影）

自動車や電気製品、サービス、生活用品の企業や自治体などが環境配慮型の製品・サービスを展示する。

バンコク東部バンナーのバンコク・インターナショナル・トレード&エキシビション・センター（BITEC）の7,550平方メートルのホールを使い、289社の出展、7万人の来場を見込む。会期中に実施する商談会では、成約額が昨年に台湾で達成した1億米ドル（約120億円）を上回るとみる。

EPIF準備委員会の梁瀬行雄委員長（オリックス名誉顧問）は「赤道付近の国は気候変動の影響を受けやすい。経済成長と環境配慮の両立がますます求められる中、タイには東南アジア諸国連合（ASEAN）でリーダーシップを取ってもらいたい」と話した。展示会では目に見える成功体験の共有を重視し、大気汚染などの問題を解決した日本の自治体の参加も募る考えを示した。

FTIは、展示会を一般人の環境意識向上につなげたいと期待する。ソンボン上級副会長は、国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議（COP21）の国際的な枠組みに沿い、タイ政府も二酸化炭素（CO2）の排出量削減に本腰を入れるほか、国営石油PTTや素材最大手サイアム・セメント（SCG）など地場大手も環境に配慮した製品の開発を進めているが、「一般人の意識はまだ低い」と指摘。自治体が進めるごみのリサイクルを徹底させ、効果を出すためにも啓発活動が重要になると強調した。